

枕草子 第十七回

市は、辰たつの市

市は、たつの市、さとの市、海つ石榴は市など、大和には市のついた町がたくさんあるけれども、長谷寺にお参りをした人が、必ずのよう  
にこの地に泊るのは、観音さまのご縁を大切にしたいという、特別の気持があるからだろう。ほかにもこのあたりには、おふさの市や、しかまの市や、もちろん飛鳥の市もある。

峰といえは

峰といえは、ゆづる葉の峰、阿弥陀の峰、そしていやたかの峰。

原には

原には、みかの原、あしたの原、園原なんていうのもある。

淵には

淵には、かしこ淵というのがあっても、一体どういう気持で、どなたがそうと教えて、そんな名前になったのだろう。青色の淵なんていうのも面白い。まるで蔵人が着るお召し  
のよう。ほかにも、隠れの淵や、いな淵なんていうのもあって面白い。

海といえは

琵琶湖のみずうみ、与謝の海、そして、かはふちの海。

陵には

陵みかどには、うぐいすの陵、かじはぎの陵、そして、あめの陵などがあって、どれも歌に歌われして風情がある。

渡りといえは

渡りといえは、しかすがの渡り、こりずまの渡り、そして水はしの渡りなど。

たちといえは

たちといえは玉造たまつくり。どんなものにも、それらしい言葉や場所が、きまって付いていて、本当に風情がある。

立派な建物といえは

立派な建物といえは、まずは近衛の御門。そして二条院。みかい、一条も良い。染殿の宮、清和院、菅原の院、冷戦院、閑院、朱雀院、小野の宮、紅梅殿、そしてあかた県あかたの井戸殿。そして竹三条院や、小八条院や、小一条の院なども素晴らしい。